

# ブラックダイヤモンド ジェットフォースバックパック 取扱説明書

※本製品を使用する前に、必ず本取扱説明書をお読みください。

## 警告

本製品は使用者が雪崩の危険性のある場所での活動中に使用するための製品です。雪崩は非常に危険です。雪崩の危険性のある場所で活動をする前に、起こりうる危険を理解し受け入れて下さい。本製品を使用する場合の行動、および危険を想定した上での決断は使用者の責任において行って下さい。本製品をご使用になる前にこの取扱説明書に記載された使用方法とそれに付随する警告文をすべて読んで理解し、本製品の性能と限界を熟知し、用具の使い方について適切なトレーニングを受けて下さい。雪崩を知るための講習会などに参加し、経験を積み、正しい判断ができるような訓練を受けることが、安全性を高め命を守ることにつながります。本製品の使用方法に不確かな部分がある場合はブラックダイヤモンド社または輸入代理店に問い合わせをして下さい。本製品にはいかなる改造も加えないで下さい。未成年者や、肉体的、知覚的、または精神的能力に問題のある方、または経験と知識が不足している方が本製品を使用する場合は、経験豊富で責任を負える人の直接的な管理の下で使用しなければなりません。子供の場合ジェットフォースを使用、清掃、メンテナンス、エアバッグの収納等を行うことはできません。爆薬を用いて雪崩コントロール作業に従事する方へ：本製品に搭載されている電子機器はあらゆる状況を想定してのテストは行われておらず、使用者を想定外の危険にさらすことがあるかもしれません。過熱、炎上、爆発、他の電子機器への障害、静電気等、電子機器を使用する上で例外なく起こりうる危険性があることを想定して下さい。この取扱説明書や警告に従わなかった場合、死亡や重傷を負う可能性があります！

## ジェットフォースバックパックの概説

ジェットフォースバックパックは雪崩の発生する可能性のある場所、またはその近辺で使用するために設計されています。本製品にはジェットフォース・アバランチ・エアバッグシステムと呼ばれる、雪崩から逃れる可能性を高める機能を搭載しています。エアバッグを膨らませることにより、人とバックの総容積を拡大し、使用者が雪崩の表面に留まることを助け、完全に埋没する可能性を低減させ、救助されるまでの時間を短縮させることが可能となります。

雪崩は命を奪うことがある現象です。本製品は使用者の生存率を高めるかもしれませんが、雪崩に巻き込まれたときの安全を保証するものではありません。本製品はビーコン、ショベル、プローブといった他のアバランチセーフティギアと併用して下さい。本製品を雪崩の起こりうる場所で使用する前に、雪崩に対する知識や救助能力を高める講習を受けることが欠かせません。どのようにして雪崩を避けるか、雪崩に巻き込まれた場合どのような行動を取ったら良いかを学んで下さい。加えて、エアバッグの使い方に習熟し、雪崩に巻き込まれたらできる限り雪崩の表面上を流されるように努力し、流される速度が落ちてきたら自分の周囲に空気を含むスペースを作るように努めて下さい。

取扱説明書を良く読み、定期的に訓練をして下さい。

取扱説明書は改訂されることがありますので、ブラックダイヤモンド社のウェブサイトをごまめにチェックして下さい。

## システムの概要 (イラスト 1、2)

ディプロイメントハンドル (1c) を引くことによって2つのリリースクリップ (1k) が外れてリリースフラップ (1l) が開き、エアバッグが膨張しながらエアバッグジッパーを開くことによりエアバッグが作動します。その後エアバッグが完全に膨張します (イラスト 2)。

## 自己診断機能 (イラスト 1、3、6)

ジェットフォース・アバランチエアバッグを正常に作動させることを確かめるために、ジェットフォース電子システムはシステムを起動させる度に総合自己診断機能が働きます。自己診断機能はバッテリー充電レベル、モーターとファンの状態の他、ステータスライトやトリガー作動状況、バッテリー作動状況といった全ての重要な電子機器の自己診断を行います。自己診断機能はシステムオンになり待機状態の間も頻りに自己診断を行います。システムに異常が発見された場合ディプロイメントハンドル (1c) に備えられたシステムステータスライト (1e, 1f) が異常を知らせます。

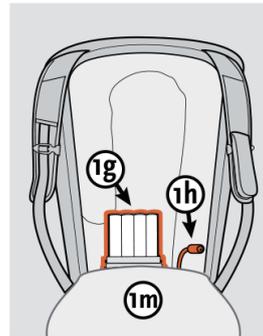
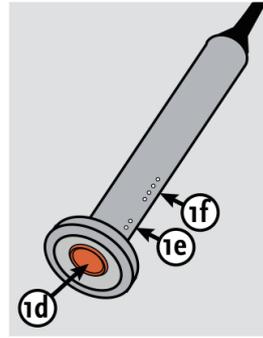
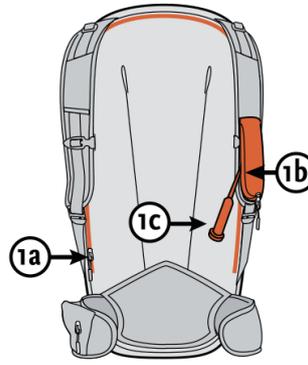
## バッテリーの充電方法 (イラスト 1)

雪崩の可能性のある場所へ行く前に常にバッテリーが完全に充電されていることを確認して下さい。バッテリーを充電するときは必ず専用のジェットフォースエアバッグ充電用 AC アダプター (タイプ: EGSTON E2CFHW3) を使用して下さい。

1. 標準装備の充電用 AC アダプター (1p) にその国に適したプラグを取り付けて下さい。
  2. バックパネルフラップ (1m) 内側にある小さいジッパー式のチャージングコネクターポケットを見つけて下さい。
  3. ジッパーを開いて充電用プラグ (1h) を取り出して下さい。
  4. 充電用 AC アダプターケーブル (1p) を充電用プラグ (1h) に差し込んで下さい。
  5. 充電用 AC アダプターケーブル (1p) をコンセントに差し込んで下さい。
  6. ディプロイメントハンドル (1c) にある緑色のシステムステータスライト (1e) が脈動的に点灯します。充電レベルは青色のチャージステータスライト (1f) が点灯することで充電済み、点滅することで充電中であることを示します。
- 警告！** いずれかのライトが点灯していると充電中でもディプロイメントハンドルを引くことによりエアバッグが作動しますのでご注意ください。
7. ディプロイメントハンドル (1c) の4個の青色ライトが点灯するまで充電して下さい。
  8. リチウムイオンバッテリー (1g) は室温で充電して下さい。気温が0°C~45°Cの範囲を超える場合は充電しないで下さい。気温が限度範囲を超えた場合、システムはエラーステータスライトを示し、充電を中止します。
  9. 充電中に赤色のシステムステータスライト (1e) が点灯した場合、充電エラーを表します。充電を中止しトラブルシューティングの項を参照して下さい。

## 各部名称

- 1a: メインカーゴコンポーネント
- 1b: ディプロイメントハンドルポケット
- 1c: ディプロイメントハンドル
- 1d: パワーボタン
- 1e: システムステータスライト
- 1f: チャージステータスライト
- 1g: リチウムイオンバッテリー
- 1h: 充電用プラグ
- 1i: エアバッグポケット
- 1j: エアバッグリリース機構
- 1k: リリースクリップ
- 1l: リリースフラップ
- 1m: バックパネルフラップ
- 1n: アクセサリーポーチ
- 1o: ジェットフォースバックパック取扱説明書
- 1p: 充電用 AC アダプター



## システムの概要 (イラスト 1、2)

ディプロイメントハンドル (1c) を引くことによって2つのリリースクリップ (1k) が外れてリリースフラップ (1l) が開き、エアバッグが膨張しながらエアバッグジッパーを開くことによりエアバッグが作動します。その後エアバッグが完全に膨張します (イラスト 2)。

## 自己診断機能 (イラスト 1、3、6)

ジェットフォース・アバランチエアバッグを正常に作動させることを確かめるために、ジェットフォース電子システムはシステムを起動させる度に総合自己診断機能が働きます。自己診断機能はバッテリー充電レベル、モーターとファンの状態の他、ステータスライトやトリガー作動状況、バッテリー作動状況といった全ての重要な電子機器の自己診断を行います。自己診断機能はシステムオンになり待機状態の間も頻りに自己診断を行います。システムに異常が発見された場合ディプロイメントハンドル (1c) に備えられたシステムステータスライト (1e, 1f) が異常を知らせます。

## バッテリーの充電方法 (イラスト 1)

雪崩の可能性のある場所へ行く前に常にバッテリーが完全に充電されていることを確認して下さい。バッテリーを充電するときは必ず専用のジェットフォースエアバッグ充電用 AC アダプター (タイプ: EGSTON E2CFHW3) を使用して下さい。

1. 標準装備の充電用 AC アダプター (1p) にその国に適したプラグを取り付けて下さい。
  2. バックパネルフラップ (1m) 内側にある小さいジッパー式のチャージングコネクターポケットを見つけて下さい。
  3. ジッパーを開いて充電用プラグ (1h) を取り出して下さい。
  4. 充電用 AC アダプターケーブル (1p) を充電用プラグ (1h) に差し込んで下さい。
  5. 充電用 AC アダプターケーブル (1p) をコンセントに差し込んで下さい。
  6. ディプロイメントハンドル (1c) にある緑色のシステムステータスライト (1e) が脈動的に点灯します。充電レベルは青色のチャージステータスライト (1f) が点灯することで充電済み、点滅することで充電中であることを示します。
- 警告！** いずれかのライトが点灯していると充電中でもディプロイメントハンドルを引くことによりエアバッグが作動しますのでご注意ください。
7. ディプロイメントハンドル (1c) の4個の青色ライトが点灯するまで充電して下さい。
  8. リチウムイオンバッテリー (1g) は室温で充電して下さい。気温が0°C~45°Cの範囲を超える場合は充電しないで下さい。気温が限度範囲を超えた場合、システムはエラーステータスライトを示し、充電を中止します。
  9. 充電中に赤色のシステムステータスライト (1e) が点灯した場合、充電エラーを表します。充電を中止しトラブルシューティングの項を参照して下さい。

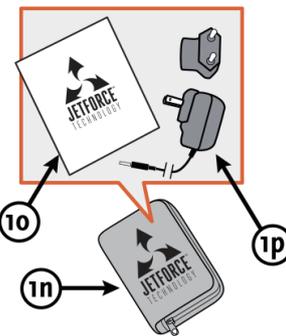
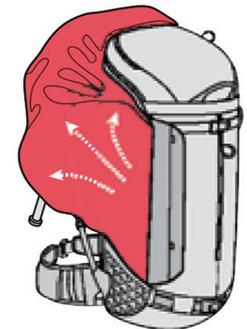
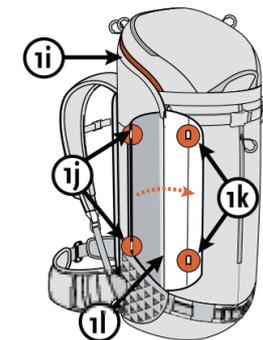


イラスト 1

イラスト 2

### バッテリー状況と充電時期の確認 (イラスト 1、3)

- システム作動中は青色のチャージステータスライト (1f) が 1 個から 4 個の 4 段階で点灯してバッテリー残量を表示します。赤色のパワーボタン (1d) を押すことにより (2 秒間以内)、いつでもチャージステータスライトを点灯させることができます (1f とイラスト 3 を参照)。
  - ブルーライト 4 個点灯時**：フル充電 (最大回数作動可能)
  - ブルーライト 3 個または 2 個点灯時**：パーシャル充電 (複数回作動可能)
  - ブルーライト 1 個点灯時**：-30°C で少なくとも 1 回は作動可能
- 赤いシステムステータスライト (1e) が点灯し、1 個の青色ライトが素早く点滅している場合はエアバッグを作動させるための十分なバッテリー残量がありません。雪崩の危険性のある斜面には入らないで下さい。
- ジェットフォースバックパックを使用する前夜にバッテリー状況を確認し、フル充電状態でなかった場合は充電して下さい。出発時にフル充電状態になっていることがベストです。

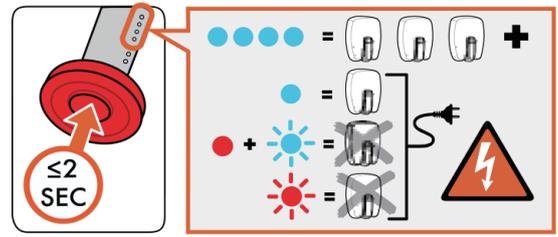


イラスト 3

### バックの装着方法 (イラスト 4)

自分の身体に合わせたフィッティングと装着が重要です。

- 両腕を各ショルダーストラップに通してバックを背負って下さい。
- 左腰側ウェストベルトポケット (3b) の中にレッグストラップ (3a) が収納されています。レッグストラップを左脚の後外側から両足の間を通して下さい。ウェストベルトの左側バックル (3c) をレッグストラップループ (3d) に通して下さい。
- 左側サイドバックル (3c) を右側サイドバックル (3e) に通しストラップをしっかりと締めて下さい。
- レッグストラップがきつすぎる場合もしくはゆるすぎる場合は、左側ウェストベルトポケット (3b) 内にある金属製調整バックルで調整して下さい。レッグストラップ末端が金属製調整バックルに折り返して通されていることを確認して下さい。
- スターナムストラップ (3f) のバックルを締めて下さい。
- バックパックの荷重が肩と腰の両方に分散されるようにショルダーストラップを調整して下さい。

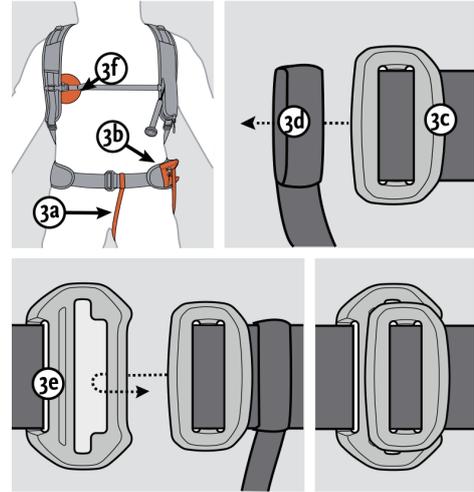


イラスト 4

### システムを作動させる (イラスト 1、3、5)

**警告！** 雪崩の可能性のある斜面に立ち入るときは必ずシステムを作動状態にして下さい。

- 左ショルダーストラップにあるディプロイメントハンドルポケット (1b) のジッパーを開いてディプロイメントハンドル (1c) を取り出して下さい (イラスト 1)。イラスト 5 も参照して下さい。
- システムを起動するにはディプロイメントハンドル (1c) の底部にある赤色のパワーボタン (1d) をファンが短時間回転するまで約 4 秒間押しして下さい (イラスト 5)。ファンが作動したらボタンから指をはなして下さい。
- システムが起動すると 1 個～4 個の青色チャージステータスライト (1f) が点灯しバッテリー残量を示します。バッテリーステータスライトが示す内容は「バッテリー状況と充電時期の確認」の項をお読み下さい (イラスト 3)。
- ジェットフォースシステムを使用しないときは必ずシステムをオフにして下さい。

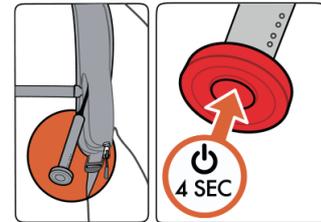


イラスト 5

### システムステータスライト (イラスト 1、6)

- システムが起動すると緑色のシステムステータスライト (1e) が脈動的に点灯しシステムが作動していることとジェットフォースの操作が可能であることを示します (イラスト 1)。イラスト 6 もご参照下さい。
- 自己診断装置がシステムエラーを表示する場合 (イラスト 6)
  - 赤色のシステムステータスライト (1e) が点灯し、1 個の青色チャージステータスライト (1f) が素早く点滅している状態はバッテリー残量が不足していることを示し、充電が必要となります。この状態ではシステムは起動できません。この状態で雪崩の危険性のある斜面には立ち入らないで下さい。
  - 赤色のシステムステータスライト (1e) が点滅した場合システムは操作できません。この状態で雪崩の危険性のある斜面には立ち入らないで下さい。システムをオフにして、この取扱説明書のトラブルシューティングの項をお読み下さい。
- 2 個のシステムステータスライトと青色チャージステータスライトが連動して点灯した場合ジェットフォースエアバッグシステムに何らかのエラーが発生していることを示しています。エラーが発生した場合この取扱説明書のトラブルシューティングの項をお読み下さい。



イラスト 6

### エアバッグの操作方法 (イラスト 1、7)

バックパックを背負いストラップがしっかり装着され、システムが正常に起動し、緑色のシステムステータスライトが脈動的に点灯している状態になると、エアバッグの操作が可能になります。

- ディプロイメントハンドル (1c) を握り、エアバッグを覆っているリリースフラップ (1i) が開いてファンが作動するまでディプロイメントハンドル (1c) を引いて下さい。
- エアバッグが直ちに膨らみ始めます。ファンは 9 秒間フル作動し、その後パワーを落として 3 分間作動し続け、その間にファンが一時的にパワーを上げて空気を再充填します。
- 3 分後にファンが自動的に逆回転してエアバッグ内の空気を抜いてしまひ、システム作動状態に戻ります。
- エアバッグが作動して 9 秒を過ぎた後、膨張 / 収縮の作動を中止してシステム作動状態に戻りたい場合は、赤色のパワーボタン (1d) を約 5 秒間長押しして下さい。

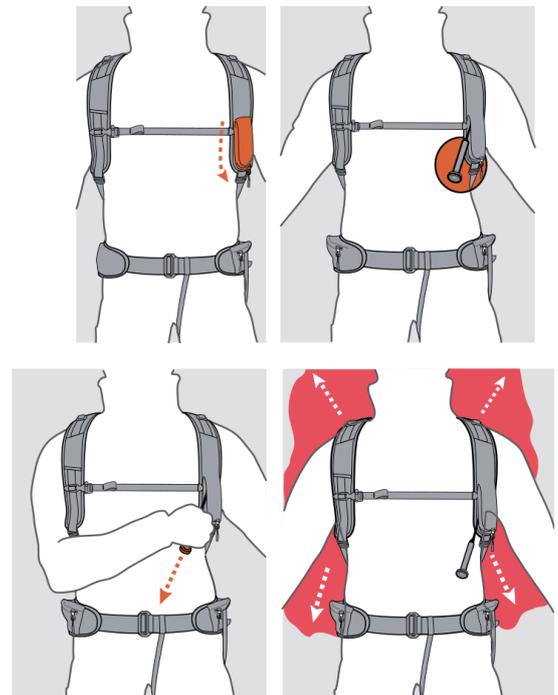


イラスト 7

## エアバッグの収納方法 (イラスト 1、8)

1. 収納する前にエアバッグが完全に収縮していることを確認して下さい。
2. 手でエアバッグを収縮させる場合：
  - a. バック左下部のエアバッグポケット (1i) の底部にある円筒形のファンハウジング (5a) を外に出して下さい。
  - b. ファンハウジング上に親指大の四角形状のエアリリーススライダー (5b) があることを確認して下さい。
  - c. エアリリーススライダーを上方向にスライドさせてバルブを開き、エアバッグを絞って内部に残った空気を外に出して下さい。
3. リリースフラップ (1j) 下部にあるエアバッグポケットジッパーブル (5c、JetForce のプリント有り) をバックの反対側へスライドさせて下さい。
4. ジッパーブルとジッパーをかみ合わせ、エアバッグをエアバッグポケットに押し込みながらジッパーを閉じて下さい。エアバッグは丸めたりたたんだりしないで下さい。
5. ジッパーブルはバック左側のジッパー終了部まで完全にスライドさせて下さい。**警告！ ジッパーブル (5c) は絶対に短い方のジッパーを通り越すまでスライドさせて下さい。さもないとエアバッグが作動しません。ジッパーブルは短い方のジッパー末端を通り過ぎる所に位置していません。ラベル (5d) を参照して下さい。**
6. リセットフラップ (1l) の下部末端近くにある白い矢印がプリントされているリセットタブ (5e) を引いて、エアバッグリセットメカニズム (1j) をリセットして下さい。
7. リリースフラップ (1j) に取り付けられているリリースクリップ (1k) をエアバッグリセットメカニズム (1j) にクリップし、リリースフラップを囲むように取り付けられているウェザーシールド内にたくし込んで下さい。

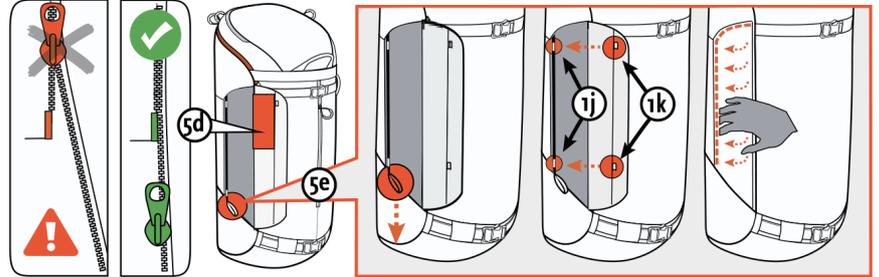
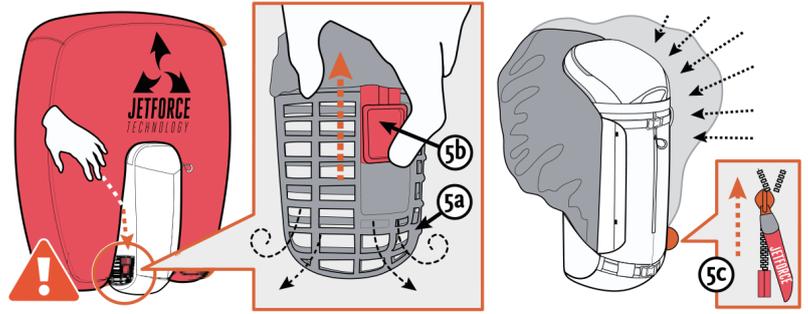


イラスト 8

- 5a: ファンハウジング
- 5b: エアリリーススライダー
- 5c: ジッパーブル
- 5d: ジッパーブルイラスト
- 5e: リセットタブ

## システムの終了方法 (イラスト 1)

1. システムをオフにするためには、赤色のパワーボタン (1d) を赤色のシステムステータスライトの点滅が止まるまで長押しして下さい (5 秒以内)。電子音が 3 回鳴ってシステムが正常に終了したことを知らせます。
2. ディプロイメントハンドル (1c) を左ショルダーストラップのディプロイメントハンドルポケット (1b) 内に収納してジッパーを閉じて下さい。

## 製品各部にわたる警告！

- ▲ スキーリフト、ゴンドラ、飛行機、ヘリコプター、スノーモービルや雪上車に乗車するとき、狭いスペースに入る時は必ずシステムをオフにして、ディプロイメントハンドル (1c) は収納状態にして下さい。
- ▲ エアバッグポケットジッパー上をストラップ等が横断したり干渉したりしないようにして下さい。
- ▲ システム作動状態でファンが回っていないときは、トランシーバーやアバランチビーコンに影響を及ぼします。
- ▲ ジェットフォースのファンが回っている間は、システムがアバランチビーコンに何らかの影響を及ぼします。
- ▲ 全てのアバランチビーコンは電気や磁気の作用に非常に敏感です。ビーコンへの干渉を防ぐために、ビーコンは身体の前に位置するように装着し、ジェットフォースのモーターからできるだけ距離が開くようにして下さい。
- ▲ エアバッグポケット (1i) 内には何も収納しないで下さい。小さな物体でもファンにダメージを与えたり、ファンの回転を止めることにつながります。
- ▲ 製品へのいかなる改造や変更、目的外の使用、取扱説明書を無視したり内容に従わなかったりした場合、深刻な事故、死亡や重傷を負う可能性があります。
- ▲ 本製品を保管したり輸送したりする場合は、システムをオフにしディプロイメントハンドル (1c) は収納状態にして下さい。
- ▲ レッグストラップ (3a) はバックパックが身体から外れることを防ぎます。本製品を使用中はレッグストラップの装着を強く推奨します。
- ▲ 雪崩の可能性のある斜面に立ち入るときは、必ずディプロイメントハンドルの緑色のシステムステータスライトが脈動的に点灯していることを確認して下さい。
- ▲ 他の個人用防護具と同じように、本製品を使用する際は、使用の前に正しく操作できるまで練習を行い、必要なときに適切に操作できる能力を身に付けて下さい。
- ▲ 中古品の使用は絶対に行わないで下さい。用具を信頼して使用するためには、その用具の使用履歴を把握しておく必要があります。
- ▲ バッテリーを充電するときは必ず付属のジェットフォースエアバッグ充電用 AC アダプター (1p)、タイプ:EGSTON E2CFHW3 を使用して下さい。
- ▲ ジェットフォースシステムは絶対に水に浸さないで下さい。
- ▲ リチウムイオンバッテリー (1g) を壊したり穴を開けたり、または過度の物理的ショックや振動にさらさないで下さい。
- ▲ バッテリー端子に何かを挿入したりショートさせたりしないで下さい。
- ▲ ジェットフォースバックパックは気温 55°C 以上の環境にさらさないで下さい。
- ▲ リチウムイオンバッテリー (1g) やエアバッグコントロールモジュールは絶対に分解しないで下さい。
- ▲ ジェットフォースバックパックから取り外すことができる部品はバッテリーのみです。その他のいかなる構成部品も取り外さないで下さい。
- ▲ 物理的ダメージがジェットフォースシステムまたはバッテリーに加わると、システムが作動しないか、過熱、炎上の可能性があります。
- ▲ バッテリーの取り外し / 取り付けの作業時や、バッテリーをバックパックから外して保管する場合は十分注意して取り扱って下さい。
- ▲ ジェットフォースバックパックの設計上の機能や性能の想定範囲外においては、雪崩からの生存率を向上させることはできません。
- ▲ 本製品やその他の個人要保護具を使用しているからといって雪崩の危険性が低くなるわけではありません。雪崩に対する認識は変えないで下さい。

## トラブルシューティング

システム作動中やシステムを起動させる度に自己診断機能が働きます。もしディプロイメントハンドル (1c) の赤色システムステータスライト (1e) が点滅したり反応しない場合システムは作動しませんので点検が必要です。システムの問題を確かめるために以下の手順で確認して下さい。各手順毎に通常操作を行って下さい。

1. システムを 2 分間停止させた後再起動して下さい。
  2. バッテリーの充電状況を確認し、不足していれば充電して下さい。
  3. 充電用プラグ (1h) と充電用 AC アダプター (1p) を 2 分間接続した後、接続を解除して下さい。
  4. バッテリーアタッチメントのネジがしっかりとしまっていることを確認して下さい。
  5. バッテリーの接続を解除し、2 分間放置し、バッテリーを再接続した後 2 分間待って下さい。
  6. ディプロイメントハンドル (1c) の赤色のシステムステータスライトがまだ点滅しているか、ライトが点灯しない場合はご購入店または輸入代理店へ点検を依頼して下さい。
- 充電中に赤色のジェットフォースシステムステータスライト (1e) が点滅または点灯している場合チャージングシステムにエラーが発生しています。以下の手順で確認して下さい。
1. 充電用 AC アダプター (1p) の接続を解除して下さい。
  2. 製品に付属している充電用 AC アダプター (1p) を使用していることを確認して下さい。
  3. 2 分間待って下さい (気温が充電に適した温度にもどる場合があります)。
  4. 充電用 AC アダプター (1p) を再接続して充電を再開して下さい。
  5. 以上の手順を行ってもジェットフォースシステムステータスライト (1e) が点滅または点灯している場合、製造元もしくは輸入代理店に点検をご依頼下さい。

## 取り扱い上の注意とメンテナンス

ジェットフォースバックパックはバッテリー液やそれが気化したもの、溶剤や塩素漂白剤、不凍剤、イソプロピルアルコール、ガソリン等に触れないように注意して下さい。ジェットフォースバックパックの汚れを落としたい場合は濡った布と中性洗剤で汚れた部分のみを拭き取って下さい。バックが必要以上に濡れないように注意して下さい。クリーニングが終了したら濡れたポケットを全て開き、吊り干して自然乾燥させた後、使用して下さい。

バッテリーを壊したり穴を開けたり、または過度の物理的ショックや振動にさらさないで下さい。リチウムイオンバッテリー (1g) を定期的な点検し、ひび割れ、膨張等がないか確認し、異常が見られた場合直ちに交換して下さい。

ジェットフォースのバッテリーは極低温下での使用を前提に設計されており、バッテリーの状態を良好に保つために内部に充電回路を設けています。しかし、全てのリチウムイオンバッテリーはいかに良好な管理下に置かれたとしても使用を重ねる年月を経るに連れて劣化します。バッテリーを満充電状態または高温下で長期間保管すると、バッテリー容量と性能は急激に低下します。また、バッテリーが過放電状態になることも避けて下さい。システムを起動した際に青色のチャージステータスライトが 1 個も点灯しない場合は、バッテリーがダメージを被っている可能性があります。

- バッテリーの状態をできるだけ長く良好に保つためには下記の事を行って下さい。
1. 雪崩の可能性のない場所ではシステムはオフにして下さい。
  2. 通常の定期的な使用状況ではバッテリーは頻りに充電して下さい。リチウムイオンバッテリーを定期的な使用する場合、75 ~ 100% の充電量を保つことが理想的です。完全に放電させることは避けて下さい。
  3. ジェットフォースバックパックを定期的な使用しない場合、バッテリーの充電量を 50 ~ 75% の状態にして涼しく乾燥した場所に保管して下さい。
  4. ジェットフォースの全てのシステムは気温 45°C まで機能しますが、バッテリーは気温 25°C を超えると劣化が早まります。
  5. バッテリーの状態を調べるためには計測器による測定が重要です。詳細はメーカーのウェブサイトか輸入代理店へお問い合わせ下さい。

## 保管と輸送

### 保管

ジェットフォースバックパックは常に全ての構成部品（バッテリー、充電用器具）と共に乾燥した場所で直射日光や熱源から遠ざけて保管して下さい。

鋭利な物体や動物、腐食性物質、カビ等からのダメージを受けないように注意して下さい。

1 週間以上保管する場合、バッテリー充電量は 50 ～ 75% にして下さい。充電中やシステム起動時にディプロイメントハンドル (1c) にある青色のチャージステータスライト (1f) が 2 個ないし 3 個点灯する状態です。

システムを長期間にわたって未使用状態にしないで下さい。バッテリーは 6 ～ 8 ヶ月毎にシステムを起動してバッテリーチェックを行って下さい。バッテリーの劣化を最小限に抑えるために充電量を 50 ～ 75% ( 青色ライトが 2 個ないし 3 個点灯 ) に保って下さい。

保管時にバッテリーを外しておく必要はありません。

### 輸送

スキーフト、ゴンドラ、飛行機、ヘリコプター、スノーモービルや雪上車に乗車するとき、狭いスペースに入る時は必ずシステムをオフにして、ディプロイメントハンドル (1c) は収納状態にして下さい。ジェットフォースを輸送する際は鋭利な物体や腐食性物質との接触を避け、物理的ショックを受けないようにして下さい。

ジェットフォースバックパックは多くのラップトップコンピューターと同じようにリチウムイオンバッテリーを使用しています。民間航空機で輸送する場合は、予め最新の旅行規則を確認して下さい。http://safetravel.dot.gov/index\_batteries.html

http://www.iata.org/whatswedo/cargo/dgr/Pages/lithium-batteries.aspx

ダメージを受けたリチウムイオンバッテリー (1g) を輸送することは禁じられている場合があります。メーカーも推奨していません。バッテリーは常にこの取扱説明書に記載されたガイドラインに沿って状態を点検し、バッテリーに関する警告事項を厳守して下さい。

### 点検、廃棄、製品寿命

#### 点検

用具の使用前後にはダメージや損耗の兆候がないか点検して下さい。雪崩に遭遇してエアバッグを作動させた場合、次のシステム使用前に下記の項目をチェックして異常が無いことを確認して下さい。
1. エアバッグがパンクしていないか、裂け目等が無いか点検して下さい。
2. ファンハウジング (5a) が痛んでいないことを点検して下さい。
3. ディプロイメントハンドル (1c) に変形や傷等が無いか、ワイヤーが外被から露出していないか点検して下さい。

4. リチウムイオンバッテリー (1g) に変形や傷等が無いか、膨張の兆候がないかを点検して下さい。
5. 配線を点検し、導線が剥き出しになっていないか、他の構成部品との接続部に異常がないかを確認して下さい。
6. ジェットフォースバックパックに穴が開いていないか、裂け目等がないことを点検して下さい。
7. ジェットフォースバックパックのショルダーストラップとウエストベルトに裂け目等がないか、縫い目が傷んでいないかを点検して下さい。
8. エアバッグを収納した後は、システムが正常に起動して作動可能になるか点検して下さい。
点検の結果、ダメージの兆候が発見されたり、ジェットフォースバックパックに信頼性がおけないと感じた場合は製造元もしくは輸入代理店に点検をご依頼下さい。

### 廃棄

ダメージを受けた用具は使用前に修理するか、再使用を避けるために壊した後廃棄して下さい。下記のような場合は製造元もしくは輸入代理店に点検をご依頼下さい。
・トラブルシューティングの頂の手順に従ってエラー解消を図っても、ジェットフォースバックパックの電子システムが正常に作動しなかったり、エアバッグが正常に作動しない場合。
・バッテリーが触れないほど過熱した場合 (48℃以上)
・エアバッグが損傷を受けて空気を保持できないと思われる場合
・構造的に重要な縫い目、パターックがほころんでいたり、損耗していたり、切れていたり、熱で溶けていたりした場合
もしも自分の用具に信頼性がおけない場合は使用を中止して下さい。
リチウムイオンバッテリーはその地域の廃棄リサイクルの規則に則って処分して下さい。どんなバッテリーもその地域の規則に則って処分する必要があります。どんなバッテリーも焼却処分はしないで下さい。
ダメージを受けたバッテリーは使用しないで下さい。

### 製品寿命

ジェットフォースシステムは 50 回の完全作動が保証されています。通常の適切な使用の場合、ジェットフォースバックパックの一般的な製品寿命は 5 年です。現実的な製品寿命は、使用頻度や使用環境に左右され、一般的製品寿命より長くなる場合や短くなる場合があります。ジェットフォースバックパックを適切な条件で保管したとしても製品寿命は製造日から最長 10 年です。
ジェットフォースバックパックの製品寿命を短くする要因：

落下による衝撃、損耗、摩擦、長時間日光にさらされること、塩水や塩気のある空気に触れること、腐食性のある化学物質に触れること、劣悪な環境下での使用、バッテリーの誤った使い方、等が挙げられます。

リチウムイオンバッテリーの一般的な交換時期は 3 年から 5 年です。全てのリチウムイオンバッテリーは経年劣化します。

#### 主要諸元

- 作動時の許容気温域：-30℃から 45℃
- バッテリー保管時の最適気温域：0℃から 23℃
- 保管時の許容気温域：-35℃から 55℃
- 充電時の許容気温域：0℃から 45℃
- 充電機器の仕様
  - EGSTON Model#E2CFHW3
  - 入力：110/220V AC.50-60Hz
  - 出力：24V DC, 1.25Amps
- バッテリーの仕様
  - 公称充電電圧：24V DC
  - 容量：28.8V DC, 1.5Ah/43.2Wh
- 操作高度範囲：0 m～ 6,000 m
- ジェットフォース リチウムイオンバッテリー、部品番号 #1 1490
- ジェットフォースエアバッグ コントロールモジュール、部品番号 #1 1505

ブラックダイヤモンドイクイップメント社は PPE ( 個人用防護具 ) に分類されるジェットフォース・アバランチ・エアバッグが PPE 指令 89/686/EEC ( カテゴリー 2)、prEN 16716、その他 EC ( 欧州共同体 ) 指令準拠の関連する条項に適合していることを宣言します。

### マーク

### キ

## マーケティング ( 表示の内容 )

ジェットフォースバックパックの表示は下記の内容を示しています。

**Black Diamond**：ブラックダイヤモンド社のブランド名称および製造社名

アメリカ合衆国：http://blackdiamondequipment.com

ヨーロッパ：http://eu.blackdiamondequipment.com/

◆：ブラックダイヤモンド社のロゴ

**PIEPS**：ピース社のブランド名称および電子システムの製造社名 http://www.pieps.com/

☼：ピース社のロゴ

**POC**：ポック社のブランド名称 http://www.pocsports.com/

**poc**：ポック社のロゴ

**JetForce**：技術およびシステムの名称

**Halo28**：モデル名称の一例

**PATENT PENDING**：ジェットフォースバックパックの設計機能が特許出願中であることを示します。

● **Date Code**：4126 という番号の場合、製品が 2014 年の 126 日目に製造されたことを示します。

☼：規格適合を意味する CE マークは、PPE ( 個人用防護具 ) 指令 (89/686/EEC) の第 10 条の要件を満たしていることを示しています。また、TUV Product Service GmbH, Daimlerstraße 11, 85748 Garching, Germany ( 届出団体番号 0123 ) による型式検査済みであることも示しています。ブラックダイヤモンド社は ISO9001 認証取得企業です。

☼：ユーザーが使用方法と警告内容を理解するための指示絵文字

**prEN 16716**：ジェットフォースバックパックが登山用具 / アバランチエアバッグシステム / 安全要件および試験方法を規定する prEN 16716 に適合していることを示します。

☼：安全な低電圧の充電器を使用して充電できるように設計されたクラス 3 の装置であることを示します。

**FC**：FCC ( 連邦通信委員会 ) のシンボルマークはこの器具が FCC 規則第 15 編に準拠したクラス B デジタル器具の試験を受け合格していることを示します。

⊕←⊕→：ジェットフォースエアバッグ充電器と充電プラグの極性を表したイラストです。

☒：ウィーリービンマークは電気製品や電子製品を身分別公共ゴミとは分類して処分するようにユーザーに指示するためのものです。

**IP65**：インターナルプロテクションマーケティングは IEC ( 国際電気標準会議 ) 規格 60529 に準拠し、ジェットフォースのリチウム・イオンバッテリーとエアバッグコントロールモジュールに粉塵が内部に侵入しないことと、いかなる方向からの直接暴噴流の水によっても有害な影響を受けないことを示しています。

### マーク

### キ

### キ